

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と年間推進計画書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 香南市立夜須中学校		校長	亀川 孝志	教員数	13	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		特別支援		合計		
		道徳教育推進教師	長谷川 智子	20	1		19	1	17	1	5	2	61	5			
研究テーマ		道徳科の趣旨を踏まえた指導方法の工夫・改善と評価の在り方に関する実践研究により、生徒一人一人の道徳性の向上を目指した道徳教育の推進															
年度当初の学校の状況		到達目標				中間検証(下半期に向けての改善事項)						年度末(到達目標達成状況)					
道徳性に関する現状 本校の生徒は、道徳の学習では仲間と自分の考えの違いに関心を持ち、真剣に考え学ぼうとする姿がある。「道徳の勉強は好きだ」に対しての肯定的評価は82.6%、「道徳の時間では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えについて聞いたりしながら自分のこと(生き方)についてよく考えている」に対しての肯定的評価は、95.7%であった。 道徳の時間は、他教科のように正解を求める授業ではない分、自分と周りの意見や考えの違いからの学びを肯定的に捉えることは必要である。しかし、意見交流し合い、自分なりに納得し、考えを深めることについては不十分である。 また、家庭・地域との連携において、通信等を通じて情報発信を行っているが、取組への理解は向上しているものの、協働や交流においては不十分である。		道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上 ①「道徳の勉強は、好きだ」 2ポイント以上向上 ②「自分の生き方についてよく考えている」 現状維持以上 ③「高知の道徳」の活用 2ポイント以上向上 ④「自分には、良いところがあると思う」 2ポイント以上向上 ⑤「将来の夢や目標をもっている」 2ポイント以上向上 ⑥「人が困っているときは、進んで助けている」 2ポイント以上向上 ⑦「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」 2ポイント以上向上															
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)										指標達成状況の分析					
取組項目	取組の評価指標	5月～8月				中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)						達成状況	年度末評価			
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実	◆教科間連携部会をもって、進捗管理を行う。(每学期3回) ◆各学年の別業、年間指導計画に基づく取組の検証(3回以上) ◆管理職、道徳教育推進教師が、毎週、全学級の道徳科の授業を参観する。	①道徳教育の全体計画(各学年の別業)、年間指導計画(各学年)の作成及び活用、申し送り事項への記入 ②管理職と道徳教育推進教師が全ての道徳科の授業参観 ③ローテーション道徳の実施					①全体計画(各学年の別業)、年間指導計画の実質化と検証・道徳科の年間指導計画の(随時)見直し・修正・道徳の内容と各教科等との関連について検証。 ②管理職と道徳教育推進教師による全ての道徳科の授業参観 ③研修会等の報告を行い、効果的な取組を共有										
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究	◆教科間連携部会で、教材研や模擬授業研を実施する。(52回以上) ◆道徳授業フィッシュ【教師用】【児童生徒用】共に3.4以上にする。 ◆公開授業研について広く案内をし、授業についての意見をもらう。(1回以上) ◆職員室だよりの活用(3回以上)	①教科間連携部会を活用した授業研修会(事前・授業・事後)(東部教育事務所指導主事による指導・助言1回) ②意識調査・授業フィッシュの活用・集計・分析 ③学習指導案、教具、板書写真、ワークシート、事後研等の整理・保管。 ④小中授業参観週間を活用した授業研修会(1回) ⑤授業づくり講座・セミナーへの参加(10名) ⑥研修会からの報告会を実施し、効果的な取組を共有					①授業研1回(12月研究発表会 講師招聘) ②教科間連携部会を活用した校内研修会(事前・授業・事後)(東部教育事務所指導主事による指導・助言12回) ③意識調査・道徳授業フィッシュの活用・集計・分析 ④個人内評価の協議・検討 ⑤学習指導案、教具、板書写真、ワークシート、事後研の記録等の整理・保管 ⑥小中授業参観週間を活用した授業研修会(2回) ⑦授業づくり講座・研究会等への参加(2名)										
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究	◆評価の仕方を共有する。(3回以上) ◆評価文例の蓄積と分類 ◆学期末の個人面談で、学習状況や道徳性に係る成長の様子を保護者に伝える。	①振り返りシート等を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→チーム会で評価について検討。 ②評価の仕方を校内で共有→学期末のたより等で発信するとともに個人懇談で保護者に伝える。 ③職員室だよりの効果的な活用					①振り返りシート等を活用して、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→学年会で評価について検討 ②評価の仕方を校内で共有→学期末のたより等で発信するとともに個人懇談で保護者に伝える。 ③職員室だよりの効果的な活用										
家庭・地域と連携した道徳教育の推進	◆全学級公開による道徳参観日を実施し、保護者参加率を25%以上にする。 ◆学校だよりや道徳だよりで取組や道徳教育ハンドブックの内容について発信する。(毎月1回以上)	①毎月のだよりに、授業の様子やハンドブック「高知の道徳」の内容を紹介・啓発。 ②キャリア教育と関連させながら、道徳教育を推進する。 ③毎月のだよりに授業の様子やハンドブックの内容を紹介・啓発。 ・生徒の道徳性に係る様子や懇談会等の内容。					①全学級公開による道徳参観日の実施(12月)。 ②保護者や地域の方の協力による道徳参観日の実施(2回目:1月)。 ③アンケートの実施・集計・分析、取組成果の発信。 ④毎月のだよりに授業の様子やハンドブックの内容を紹介・啓発。 ・生徒の道徳性に係る様子や懇談会等の内容。 ⑤ありがとうメッセージの発信。										